

Outline In The Second Half

OF

2021

2021年下半期の総論

みなさまこんにちは、まーさです。

毎度おなじみのみなさまも、今回初めましてのみなさまも、どうぞよろしく！

はい、まさかこの下半期を書くころにはいろいろもうちょっと落ち着いていると思ってましたが（希望ともいう）。全然そうじゃなかった…。現実私達の想像の斜め上（以上のものがある）でした。

が、いろいろ混迷しているとはいえ、それに飲まれてばかりもいられないのである！

新しく不安定な状況に対応していくのは並大抵ではないけれど、

何とか星の力も借りて、今を突破していきましょう。

新しい自分の方向性、見つけ出していきましょう。

とはいえ、はい。そもそも上半期の最後。なかなかゆらゆらする時期だったと思います（これを書いている現段階ではまだ未来だけ）。はっきりしなさ、不明確なことにまだまだ揺さぶられ、全体が右往左往している様子が見て取れるし、そんな状況なので、びしっとした意志力や覚悟がなかなか機能しないって感じ（地面が泥か砂なので、そこに太い柱が立たない様子をご想像ください）。

まあこの状況も、下半期に入れば少し変わっていくと思いますけどね。

もし現在進行形で、揺さぶられ警報発令中なら、今は（上半期最後）はあまり頑張らないほうがいいですね。“気まま”でいいと思います！ 多分しっかり考えても大して結果変わらないそうだし、気ままのほうがかあったときもかわしやすい&ダメージ少ない、ので！

理屈っぽくならないで、感覚を研ぎ澄ませましょう。多分この時期のいい悪いは理屈では測れないです。そこに囚われていると、なかなか先が見えてこないですから。

と、ちょっと今に触れた上で参ります！

っていうか今の話、まだまだ7月にも関係あるだろうけどね。

10人中9人が誰かと犬猿の仲？ 混乱含みだ覚悟していこう7月

では参ります。7月。

まず7月頭段階での、大天体&火星の状況確認しておきましょう。

火星は現在獅子座を運行中。上半期は牡羊座太陽期以降、あまり火の星座の活躍が見られていないので、そろそろ一発ぶちかましてほしいところですよ（適度に）。

木星はご存じ魚座に入っていますが、入って一か月もしないうちに逆行し始めているため（まあこの流れから言っても、フライング魚座木星期という感じかしら）、この段階でも、まだ1度にいますが逆行中。ちなみに今月29日からはまた水瓶座に戻ります。

そして土星（水瓶座）、天王星（牡牛座）、ここは厳しくスクエアのまま、このころもちょ〜ど90度のあたりにいるため、緊張感のある状態は続きます。そして海王星（魚座）、冥王星（山羊座）ですが、この中で天王星だけが順行。しかも8月20日にはこれも逆行に。

ですが、必ずしも「順行のときにいいこと、逆行のときに悪いこと」という展開でもないようですよ（考え方によりますが）、少なくとも私たちの今いる社会状況は「ぐいぐい先に進む前に、片付けなくちゃいけない問題が山積み」という雰囲気のほうが断然強いので、どっちかというところ「そらそうだな」という印象ですよ。それに先の土星×天王星のスクエア。これ、考えてみると進む方向性がそろっている方が、まだまし（というか、解決に向かうための軌轢）という感じ、しませもの。土星が順行になるのは10月11日ですが、このおおよそ二か月弱の間に、今ある問題の一部は前進…あわよくば解決する部分があるのかもしれないですね。

というようなことを頭にぼんやり入れつつ、見ていきましょう。

まず7月前半。しょっぱなからその牡牛座天王星、水瓶座土星に、更に獅子座火星が加わったTスクエアがきついです（汗）。そもそもスクエアの段階でも地味に（かなり）きついけど、そこに血気盛んな獅子座の火星が加わって、「黙って対立、衝突している」（お互い目を合わせないで別の部屋で文句）から、「これいったいどういうことなんだ、ちゃんと説明

しろ!」と詰め寄り、襟首をつかむ…に変わったかのような。

といいつつも、この三星座&天体、どれも雄弁ではないので（自分の調子の良いときは大いに語るが、逆のときは黙り込むタイプ）、「はた目にも『結構限界が近そう』と理解されるレベルにも関わらず、話し合いが進まない」みたいな感じだなあ。

まあ、それでもこのときは蟹座太陽が天王星とほぼ60度、同じく双子座水星がゆるく火星、土星とアスペクト取ってますので、「バラバラには話し合っている」（やはり理解してくれる人の前では雄弁…）雰囲気なんですけど。

「そんなにも折り合わないんだ!」

という事実が浮き彫りになるような時期ですね。

一個人同士もそうですし、状況的にも「誰の目にも明らかな問題があるようだが、核心部分を握っている立場の人がそこを明らかにしない（利害関係の衝突で沈黙を保つ?）」みたいな感じなのかも。

でもね〜。かといってこのころ雄弁になっているエリアも、それがいい状態なのかという微妙な雰囲気がありまして。

6月くらいからずっと続いている、双子座〜魚座間のアスペクトがずっと微妙なため、それぞれの話や情報が「本当のことなのかどうか、よくわからない」という展開、起こりやすいと思います。正確に言うところ、「あっちに言うこととこっちに言うことが違う」というか。特に大勢とかかわっている人ほどそうなりやすい感じがあるので、「どの話を信じていいのかわからない」と、混乱してしまう人、多いんじゃないかなあ。

特に、先のTスクエアのせいで、不動宮諸君は結構重苦しい時期になりそうだし、この混乱アスペクトのせいで、柔軟宮は疲弊しそうだし。頼みの綱は活動宮ですが、このころは蟹座の太陽だけなんだけど、唯一アスペクトを取るのがその天王星ですから